

令和元年度 練馬区医療救護所訓練について（案）

1 概要

平成 30 年度訓練をもって、平成 27 年度に再編した小中学校を含め、全医療救護所での訓練が終了したため、令和元年度より訓練内容を変更し実施する。

2 過去の訓練の目的と内容

○目的

医療救護所に来所することが想定される傷病者について、トリアージをし、軽症者については手当を施し、重中等症者については応急処置の後、災害時医療機関に搬送するという医療救護所での活動の一連の流れを体験する。

○内容およびスケジュール

時間	訓練	内容
09:00～09:15	開会式	開会挨拶、参加者紹介、訓練説明
09:15～09:50	災害対策講習会	区の体制やトリアージ講習等
09:50～10:10	開設訓練、設営準備	当日の役割の再確認
10:10～11:10	傷病者来所（多目的室から移動）	
	傷病者の振分け	歩行の可否で振分け
	傷病者の誘導	重：車いすやレスキューカーで搬送
	トリアージ（タグ付けと記入）	各処置場所でトリアージ
	軽症者の応急手当	医師等の診察、柔整師の処置等
	調剤・投薬	処方せんに基づき投薬
	重症者等の搬送順位の確定・搬送訓練	応急手当と民救による搬送
	医薬品の確保・補充	救護所、本部、事業者の無線等の通信訓練
11:10～11:30	閉会式	講評等

3 医療救護所訓練に関するアンケート結果

- ①当日は準備されているので実際設営をしたことがない。
- ②実際の災害時を想定すれば、避難拠点訓練と医療救護所訓練を同時開催するべき。
- ③区要員や連絡会は、避難拠点の運営に従事する必要がある。人員の配置を考える必要がある。
- ④各エリアのリーダーを決めるべき。
- ⑤自分が担当するエリア以外で何をしているが分からない。
- ⑥見学者が多く、訓練に支障が出る。
- ⑦傷病者役で参加したが、時間を持て余した。

4 令和元年度訓練の目的と内容（案）

○目的

医療救護所の開設から傷病者を手当するまでの一連の流れをより実践的に体験する。
※1 救護所あたり 2 校ずつのサイクルで訓練を行っているため、引き続き全体の流れを捉える訓練を実施する。

○内容およびスケジュール

時間	訓練	内容	
09:00～09:15	開会式	開会挨拶、参加者紹介、訓練説明	
09:15～09:40	災害対策講習会	区の体制やトリアージ講習等	
09:40～10:20	本部立ち上げ訓練 設営訓練	各医療職のリーダー決め	
		設営（機の配置、ベッドの組立等）	
		医療資器材等の設置（確認）	
		当日の役割の再確認	
10:20～11:10	傷病者および避難者来所		
	傷病者の振分け		
	傷病者の誘導		
	軽症者	トリアージ	タグ付けと記入
		軽症者の応急手当	医師等の診察、柔整師の処置等
		調剤・投薬	処方せんに基づき投薬
	重症者	トリアージ	タグ付けと記入
		重症者等の応急手当	備蓄品を基にリアルな想定で G D
搬送順位の確定・搬送訓練		民救・レスキューカーでの搬送	
本部	医薬品の確保・補充	救護所、本部、事業者の無線等の通信訓練	
	情報連絡訓練	訓練	
11:10～11:30	閉会式	講評等	

5 学校からの要望

- ①貫井中学校
A E D 講習を希望（参加する中学生対象）。
- ②大泉南小学校
炊き出し訓練を含む避難拠点訓練を実施。